

滋賀県 景況調査結果報告書

令和4年度 第4四半期
(令和5年1～3月期)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和5年1～3月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	327	31	5	2	365
(割合)	89.6%	8.5%	1.4%	0.5%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和5年1月25日～2月10日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数:365社(回答率48.7%)

※大企業27社、中小企業338社(うち小規模事業者117社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	10	2	1	6	8	27
中小企業・ 小規模事業者	117	62	27	40	92	338
合計	127	64	28	46	100	365
(業種別比率)	34.8%	17.5%	7.7%	12.6%	27.4%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	11	8	5	9	21	54
南部地域	28	14	5	7	17	71
甲賀地域	21	8	3	8	10	50
東近江地域	19	12	4	4	13	52
湖東地域	14	6	5	7	13	45
湖北地域	17	8	4	6	15	50
高島地域	17	8	2	5	11	43
合計	127	64	28	46	100	365

【結果の概要(業況DI)】

- 【全体】 今期は▲9.6と、前期と比べて1.1ポイント悪化した。
来期は▲11.5と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 【規模別】 大企業では0.0とマイナス幅が縮小し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲10.4とマイナス幅が拡大した。
来期は、大企業が▲7.4とマイナス幅が拡大し、中小企業は▲11.8とマイナス幅が拡大する見通しである。
- 【業種別】 前期と比べて、建設業・卸売業・小売業・サービス業で改善し、製造業で悪化した。
来期は、製造業と建設業はマイナス幅が縮小する一方、卸売業はマイナス幅が拡大、サービス業はマイナスに転じるなど、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和5年1~3月期、来期:令和5年4~6月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和4年度 第4四半期)



1. 調査概要

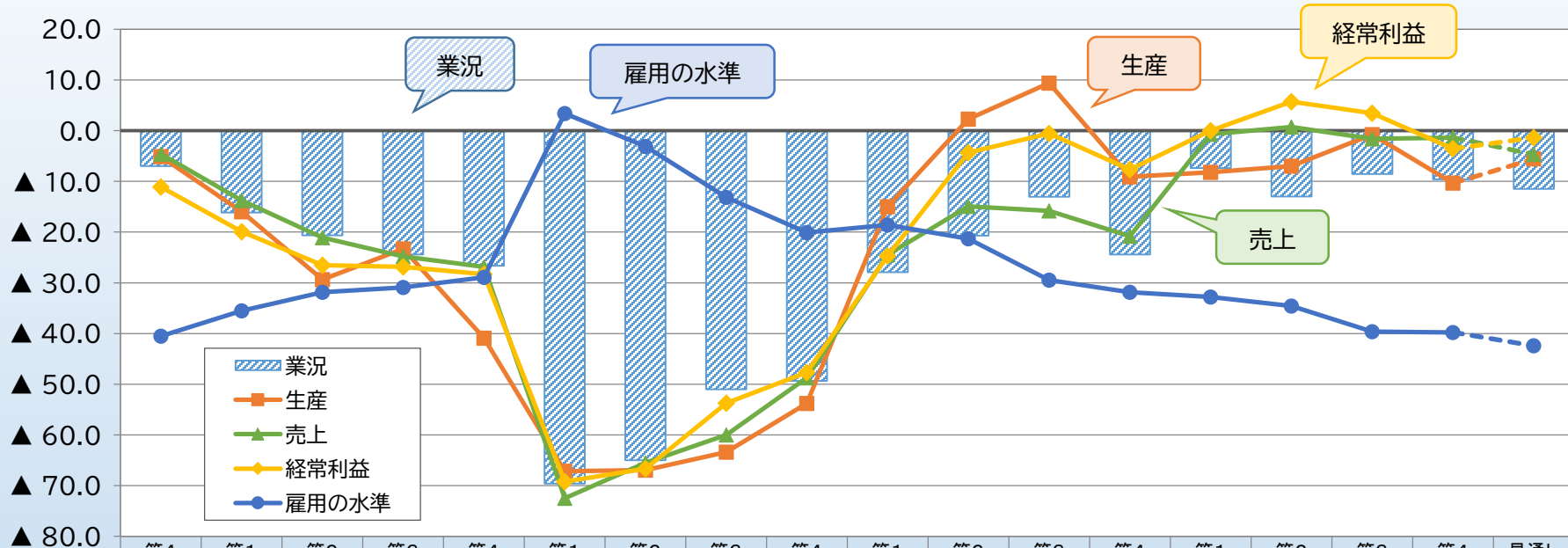
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移(平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



	第4 H30年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R5年度
	R1(2019)年度					R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度				
業況	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 11.5
生産	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	▲ 2.3	▲ 9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 5.6
売上	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.7
経常利益	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	▲ 0.0	▲ 5.7	▲ 3.5	▲ 3.6	▲ 1.4
雇用の水準	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 42.4

【今期(令和5年1～3月期)の景況】 ※前年同時期との比較

業況・生産の各DIはマイナス幅が拡大、売上DIはマイナス幅が縮小し、経常利益DIはマイナスに転じた。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和5年4～6月期)の見通し】

業況・売上の各DIはマイナス幅が拡大し、生産・経常利益の各DIはマイナス幅が縮小する見通し。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

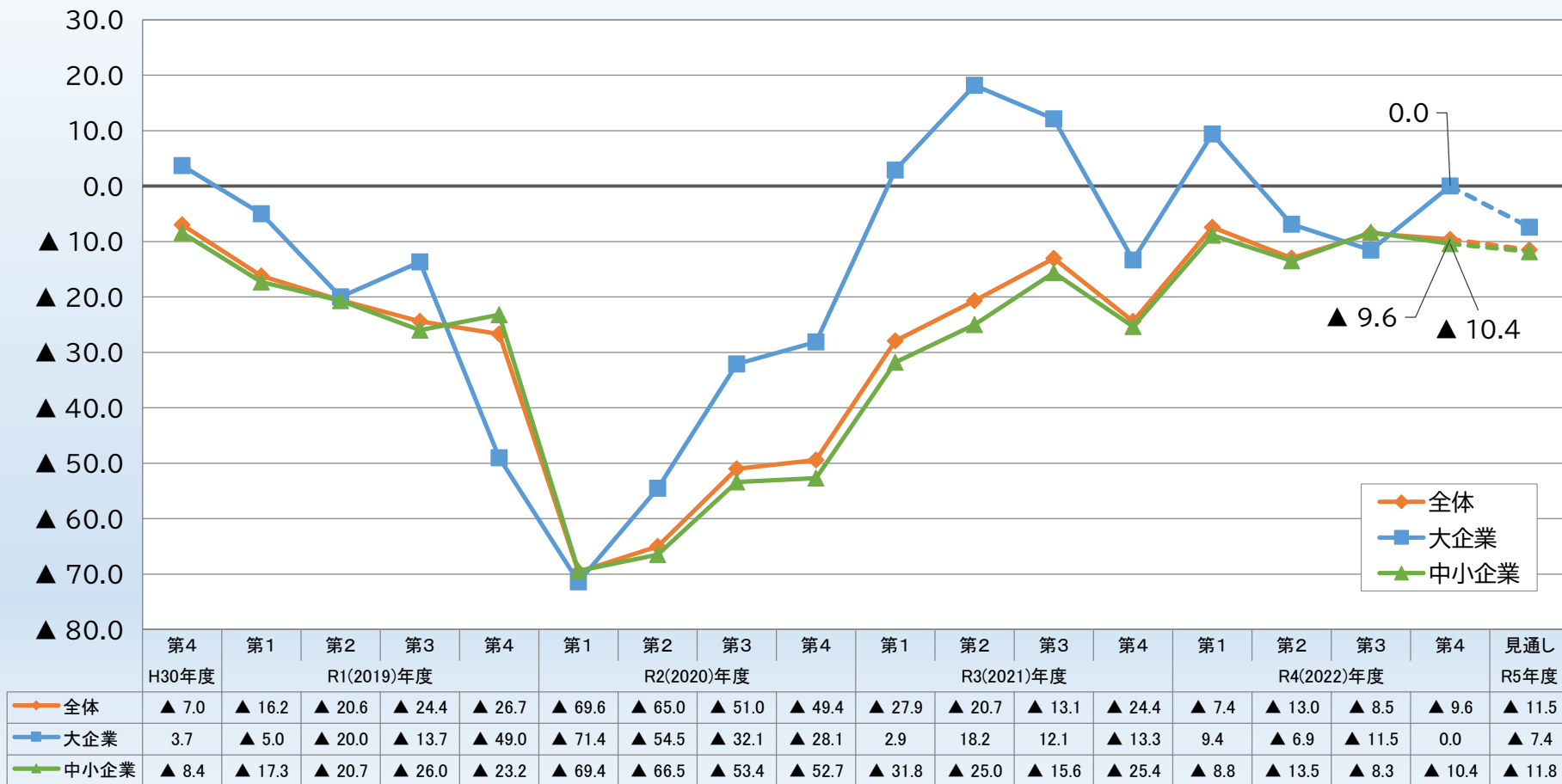
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移(平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【大企業】

今期:0.0とマイナス幅が縮小した。

来期:▲7.4とマイナス幅が拡大する見通し。

【中小企業】

今期:▲10.4とマイナス幅が拡大した。

来期:▲11.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

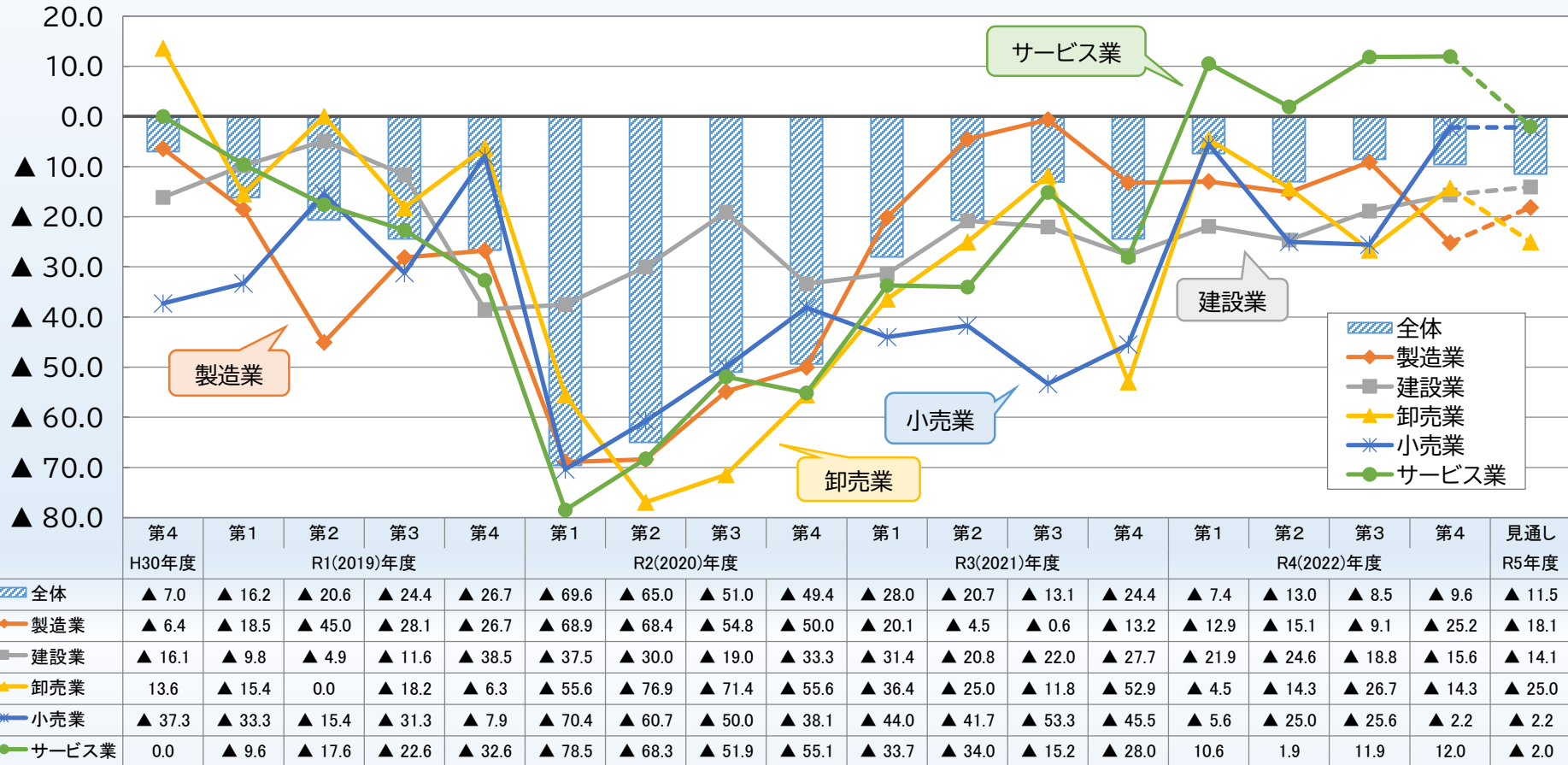
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業業種別】業況DIの推移 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【製造業】	今期: ▲25.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲18.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲15.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【卸売業】	今期: ▲14.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲2.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲2.2と同水準の見通し。
【サービス業】	今期: +12.0とプラス幅が拡大した。	来期: ▲2.0とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要

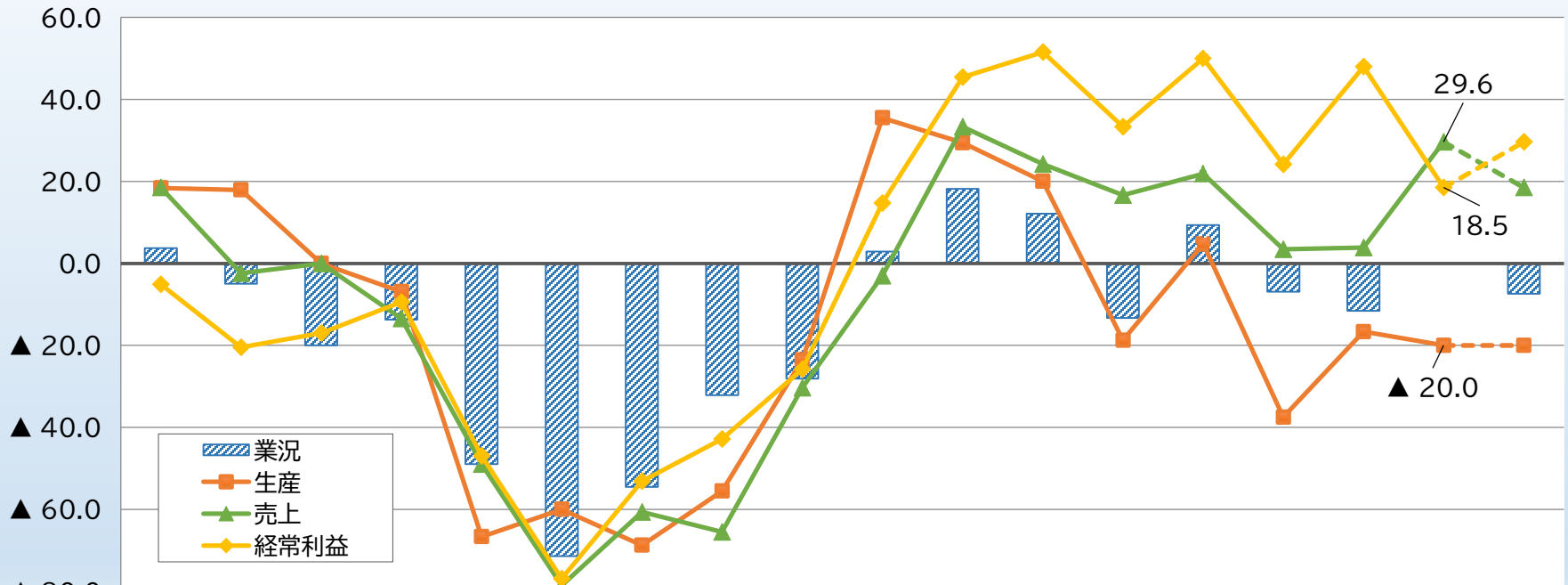
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

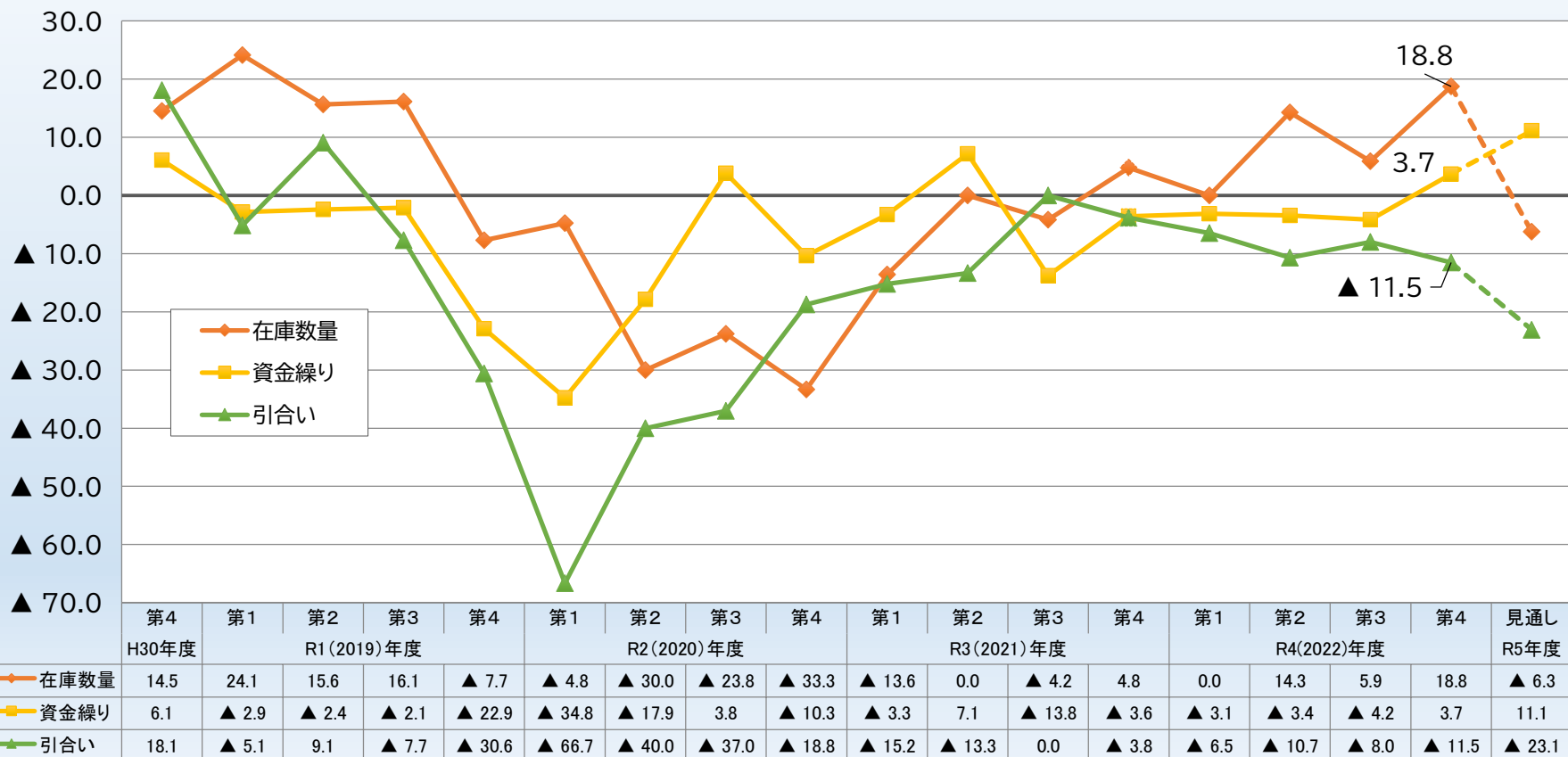
【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度第4四半期～令和4年度第4四半期)



	第4 H30年度	第1 R1(2019)年度	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R5年度
	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度					
業況	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	▲ 7.4
生産	18.4	17.9	0.0	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 20.0
売上	18.5	▲ 2.4	0.0	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	18.5
経常利益	▲ 5.1	▲ 20.5	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	29.6

【業況】	今期:0.0とマイナス幅が縮小した。	来期:▲7.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期:▲20.0とマイナス幅が拡大した。	来期:▲20.0と同水準の見通し。
【売上】	今期:+29.6とプラス幅が拡大した。	来期:+18.5とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期:+18.5とプラス幅が縮小した。	来期:+29.6とプラス幅が拡大する見通し。

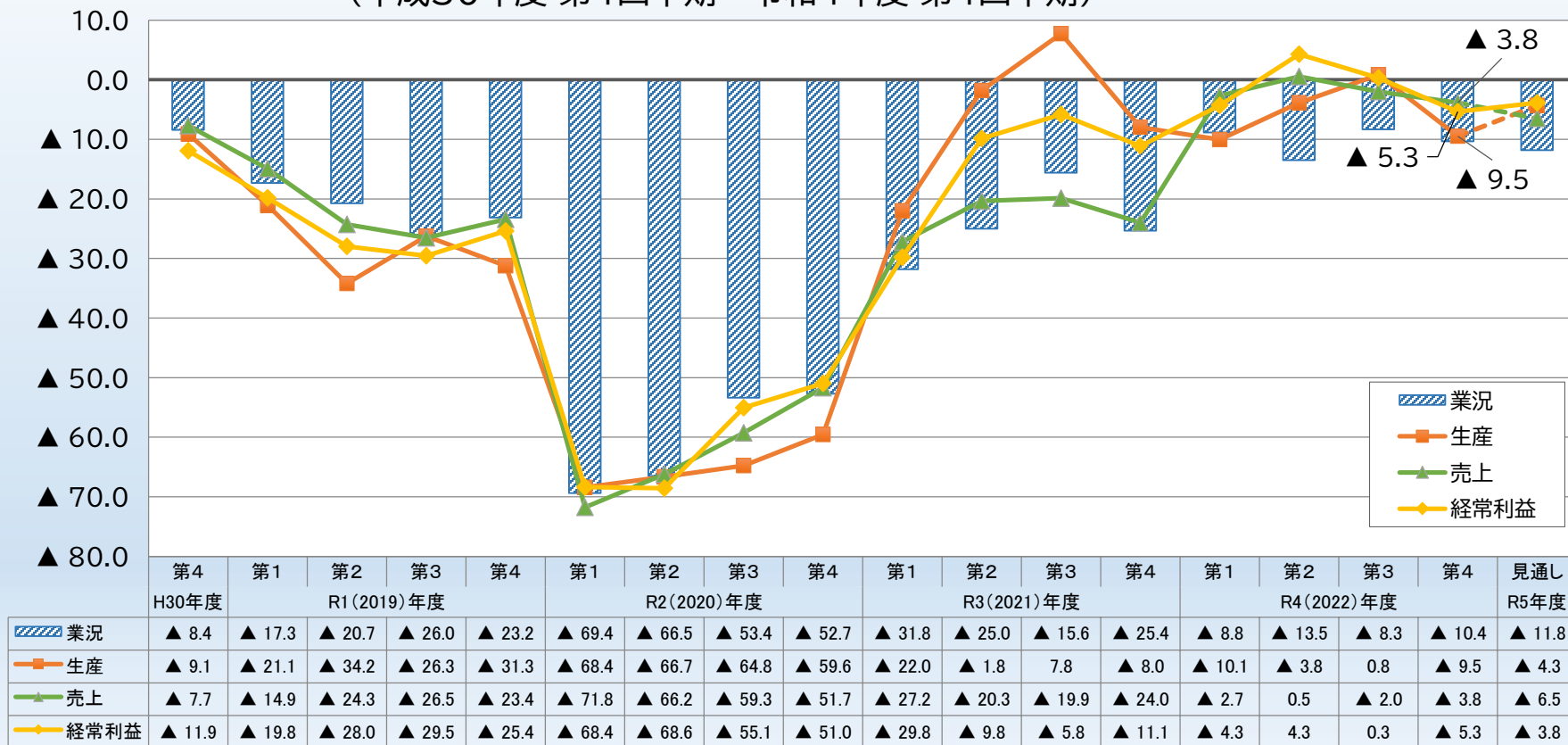
【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【在庫数量】	今期: +18.8とプラス幅が拡大した。	来期: ▲6.3とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: +3.7とプラスに転じた。	来期: +11.1とプラス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲11.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲23.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【業況】	今期: ▲10.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲9.5とマイナスに転じた。	来期: ▲4.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲3.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲6.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲5.3とマイナスに転じた。	来期: ▲3.8とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

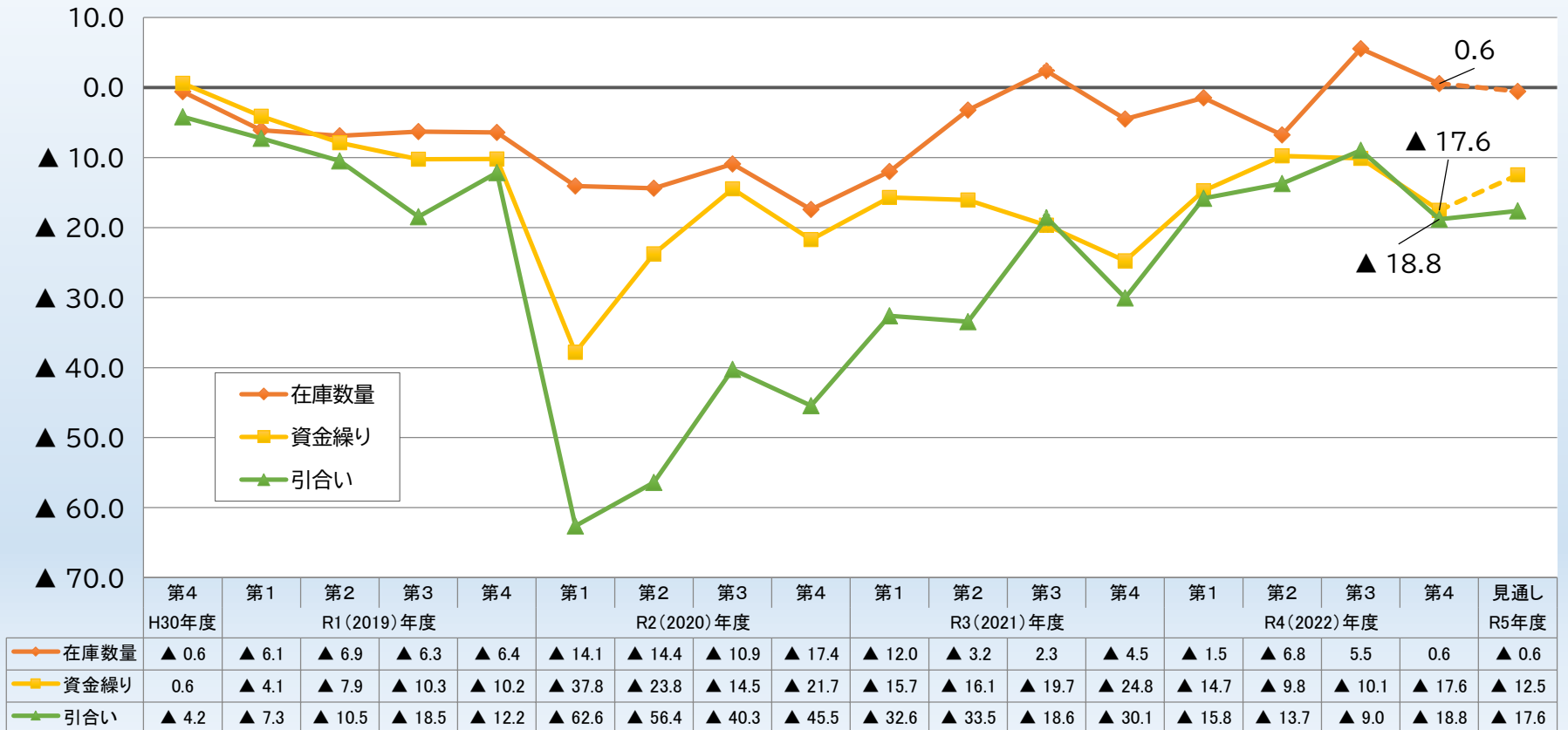
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

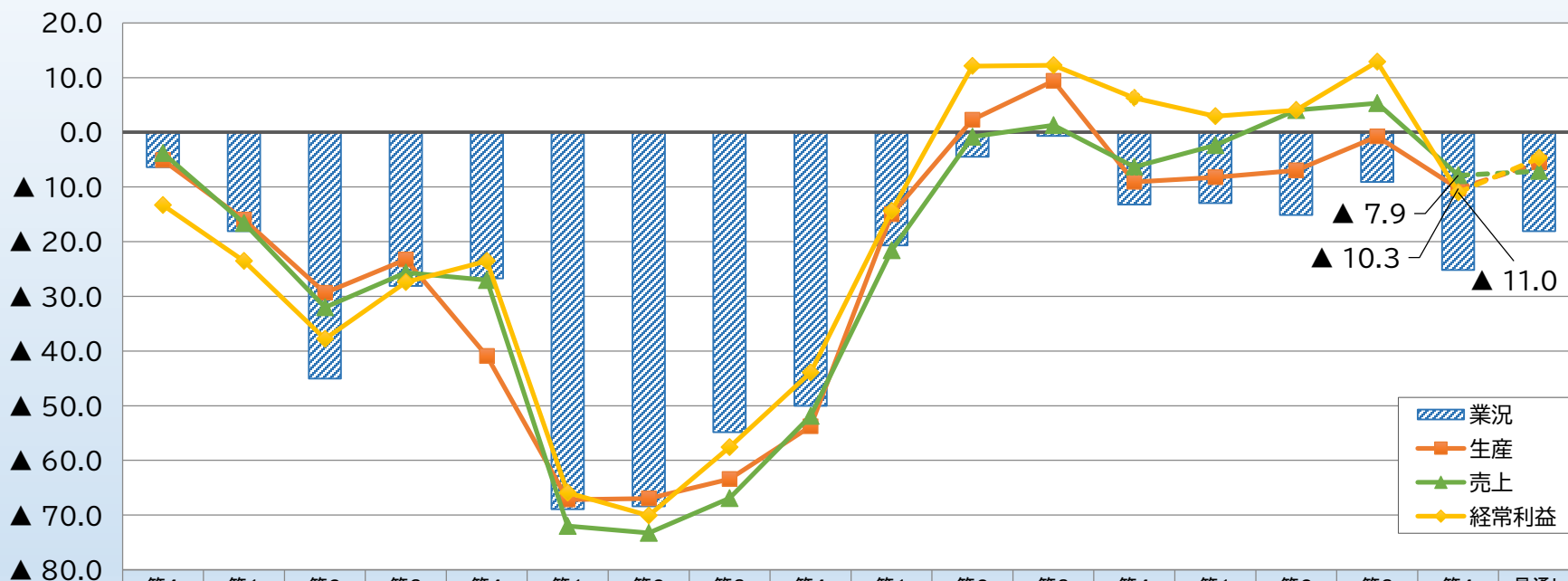
【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【在庫数量】	今期: +0.6とプラス幅が縮小した。	来期: ▲0.6とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: ▲17.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲12.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲18.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.6とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)

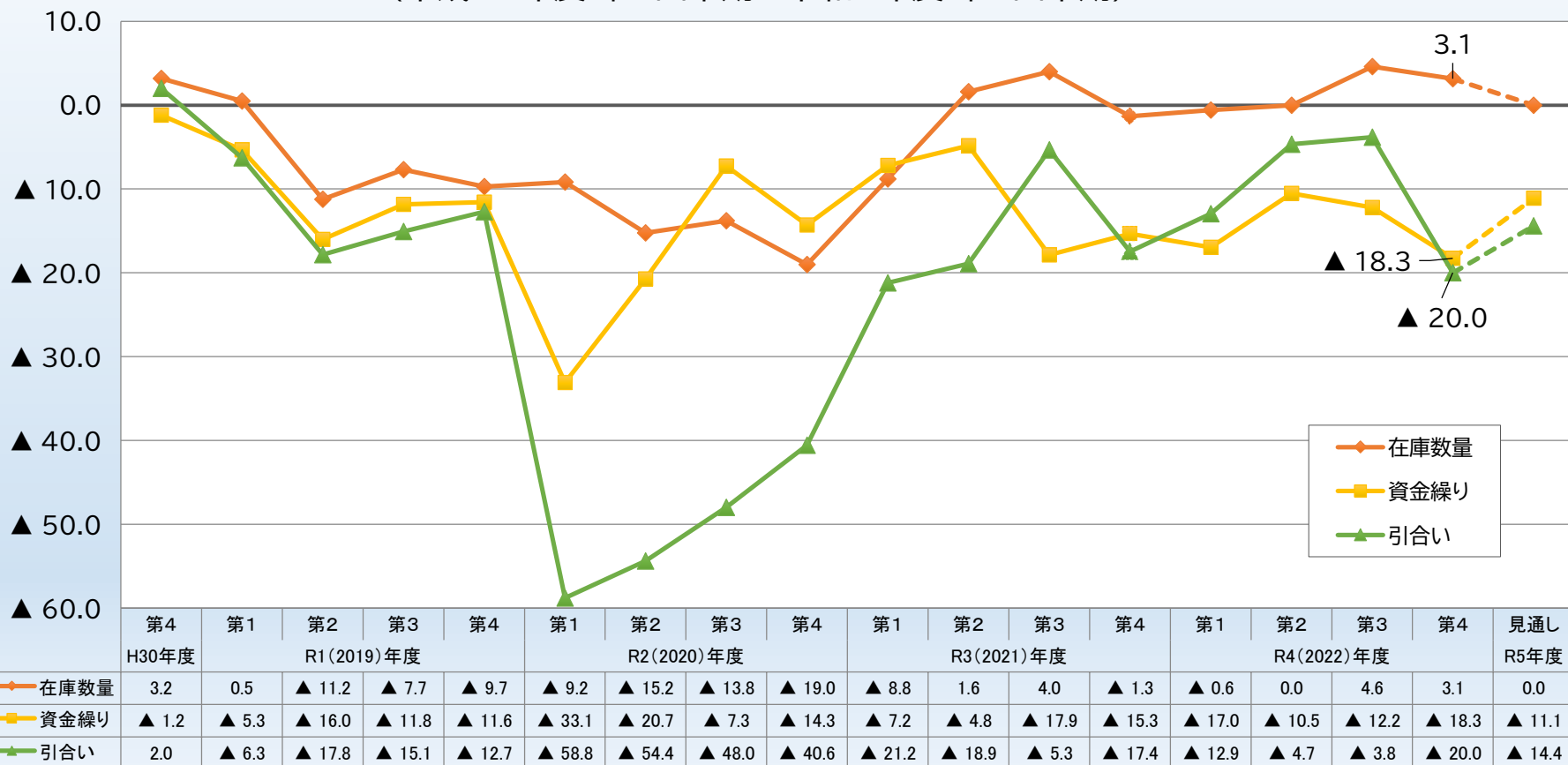


	第4 H30年度	第1 R1(2019)年度	第2 R1(2019)年度	第3 R1(2019)年度	第4 R1(2019)年度	第1 R2(2020)年度	第2 R2(2020)年度	第3 R2(2020)年度	第4 R2(2020)年度	第1 R3(2021)年度	第2 R3(2021)年度	第3 R3(2021)年度	第4 R3(2021)年度	第1 R4(2022)年度	第2 R4(2022)年度	第3 R4(2022)年度	第4 R4(2022)年度	見通し R5年度
業況	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 18.1
生産	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 5.6
売上	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 7.1
経常利益	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	▲ 4.7

【業況】	今期: ▲25.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲18.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲10.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲7.9とマイナスに転じた。	来期: ▲7.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: ▲11.0とマイナスに転じた。	来期: ▲4.7とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

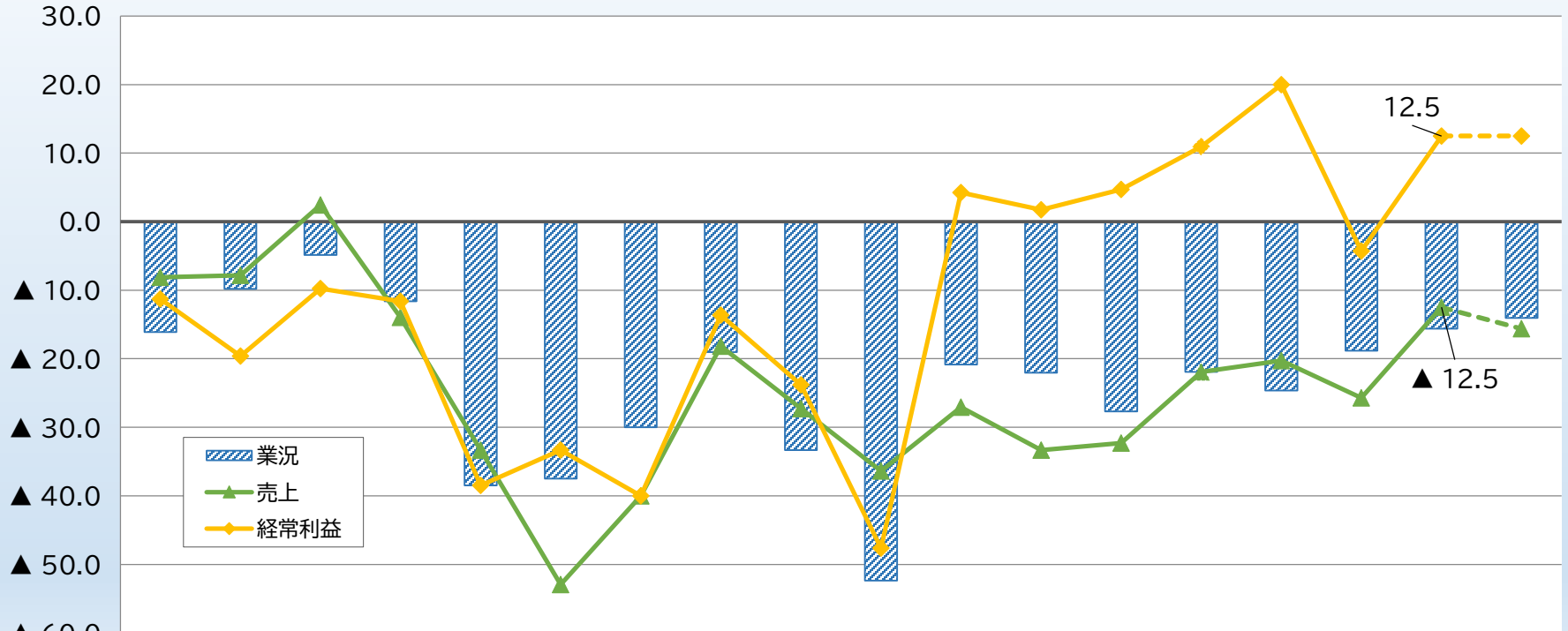
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【在庫数量】	今期: +3.1とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲18.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲14.4とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)

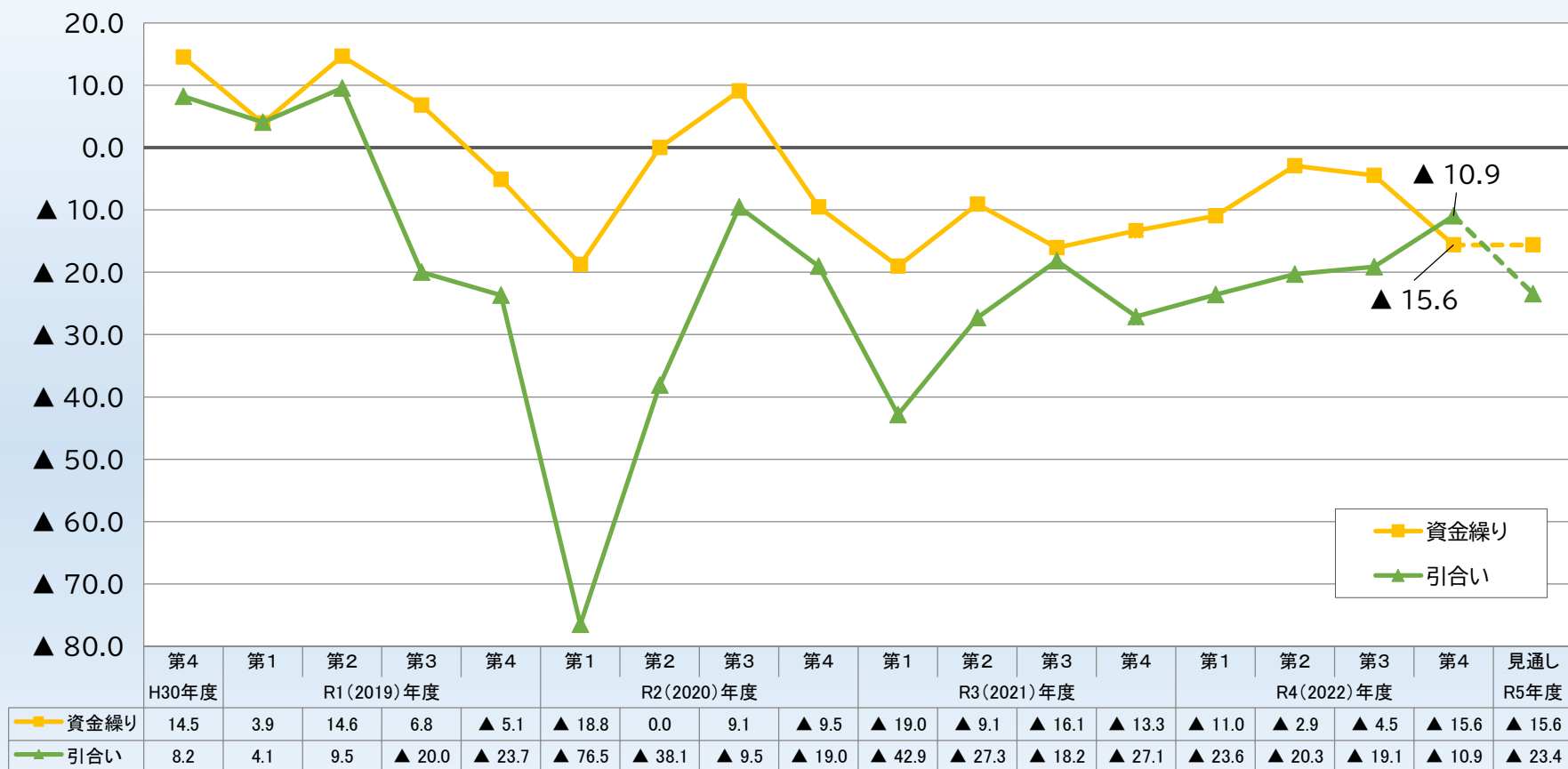


	第4 H30年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R5年度
	R1 (2019)年度				R2 (2020)年度				R3 (2021)年度				R4 (2022)年度					
業況	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 14.1
売上	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 15.6
経常利益	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	12.5

【業況】	今期: ▲15.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲12.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲15.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +12.5とプラスに転じた。	来期: +12.5と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

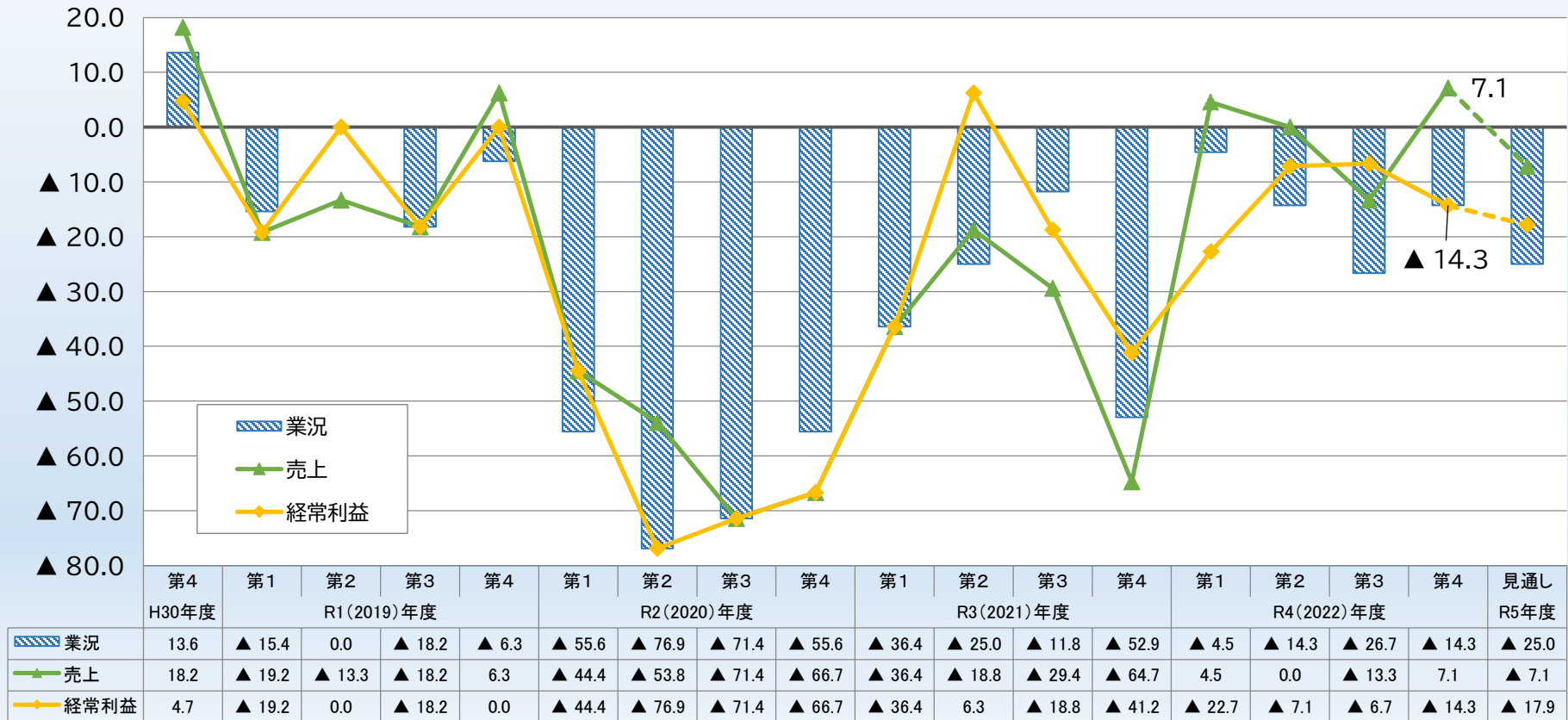
【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【資金繰り】	今期: ▲15.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲15.6と同水準の見通し。
【引合い】	今期: ▲10.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲23.4とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

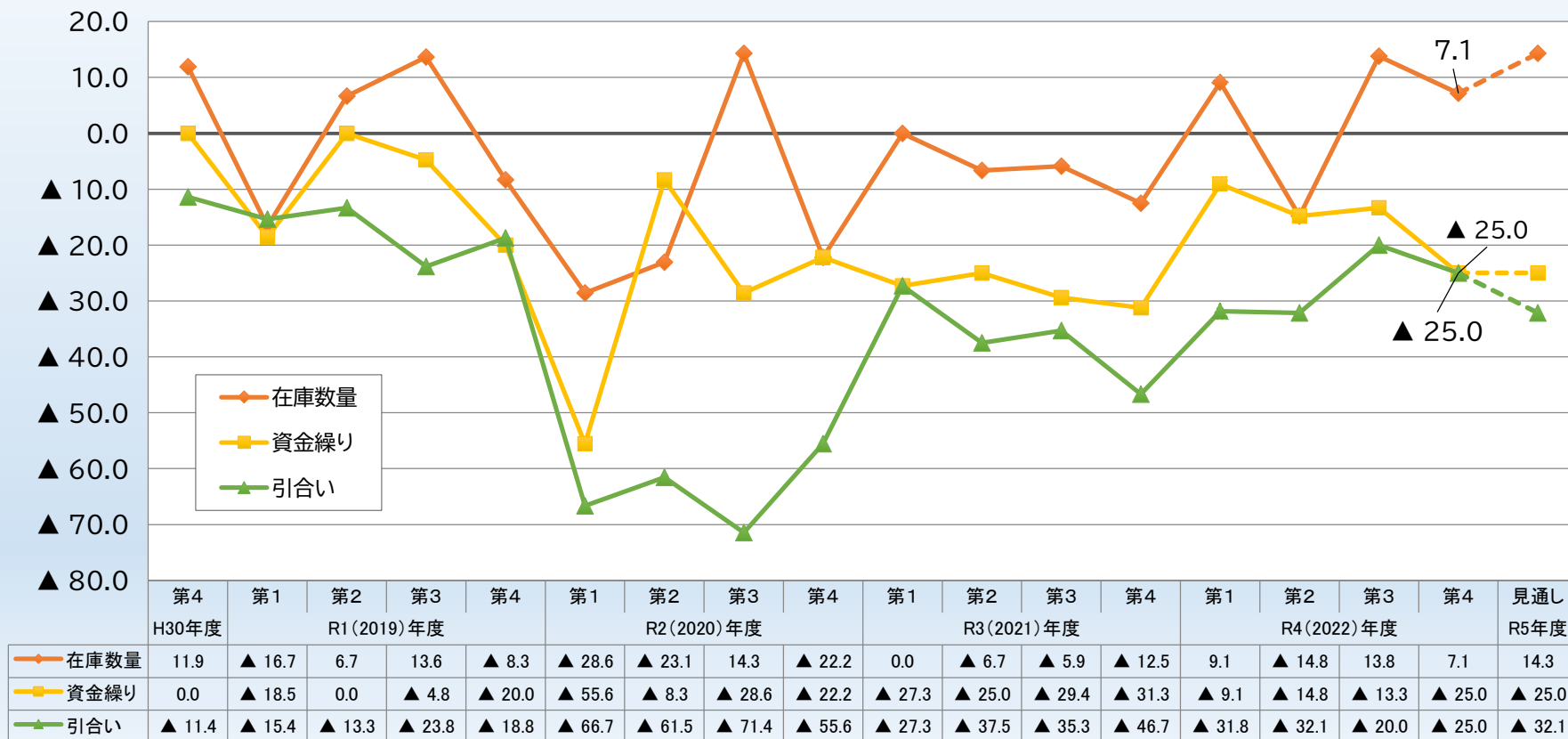
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【業況】	今期:▲14.3とマイナス幅が縮小した。	来期:▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期:+7.1とプラスに転じた。	来期:▲7.1とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期:▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期:▲17.9とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

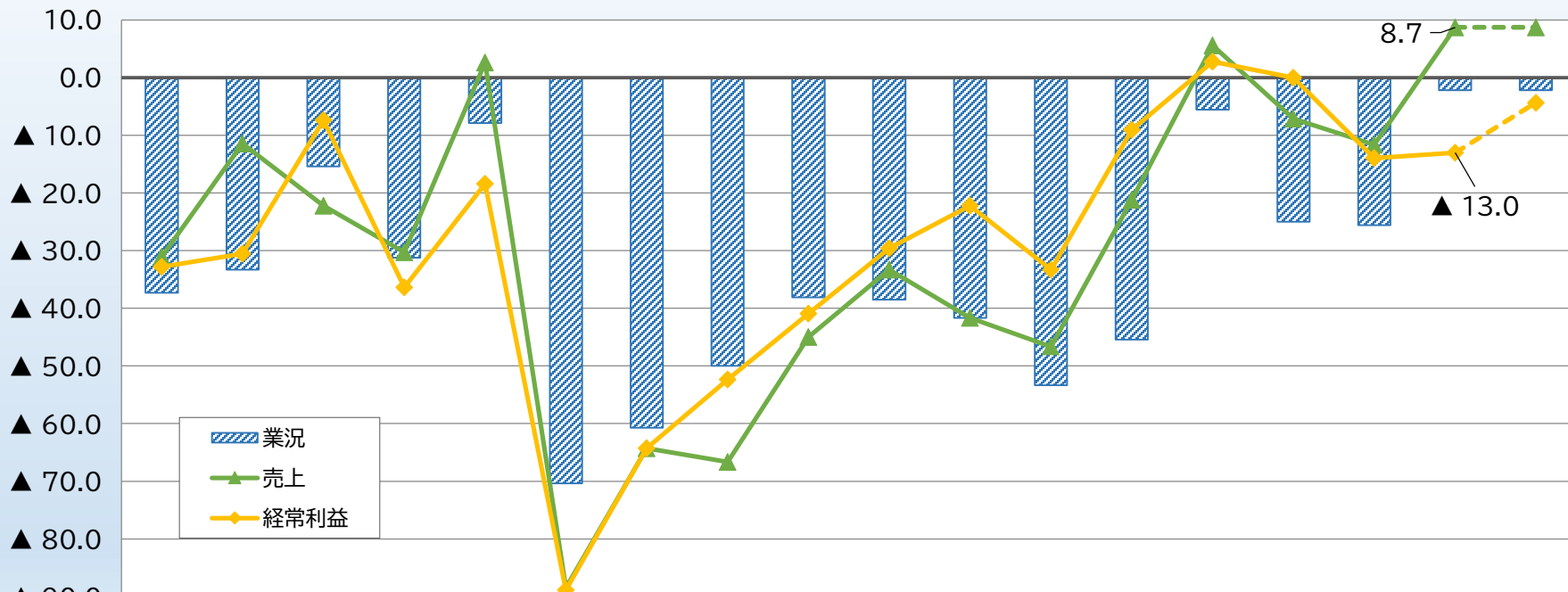
【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【在庫数量】	今期: +7.1とプラス幅が縮小した。	来期: +14.3とプラス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【引合い】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲32.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)

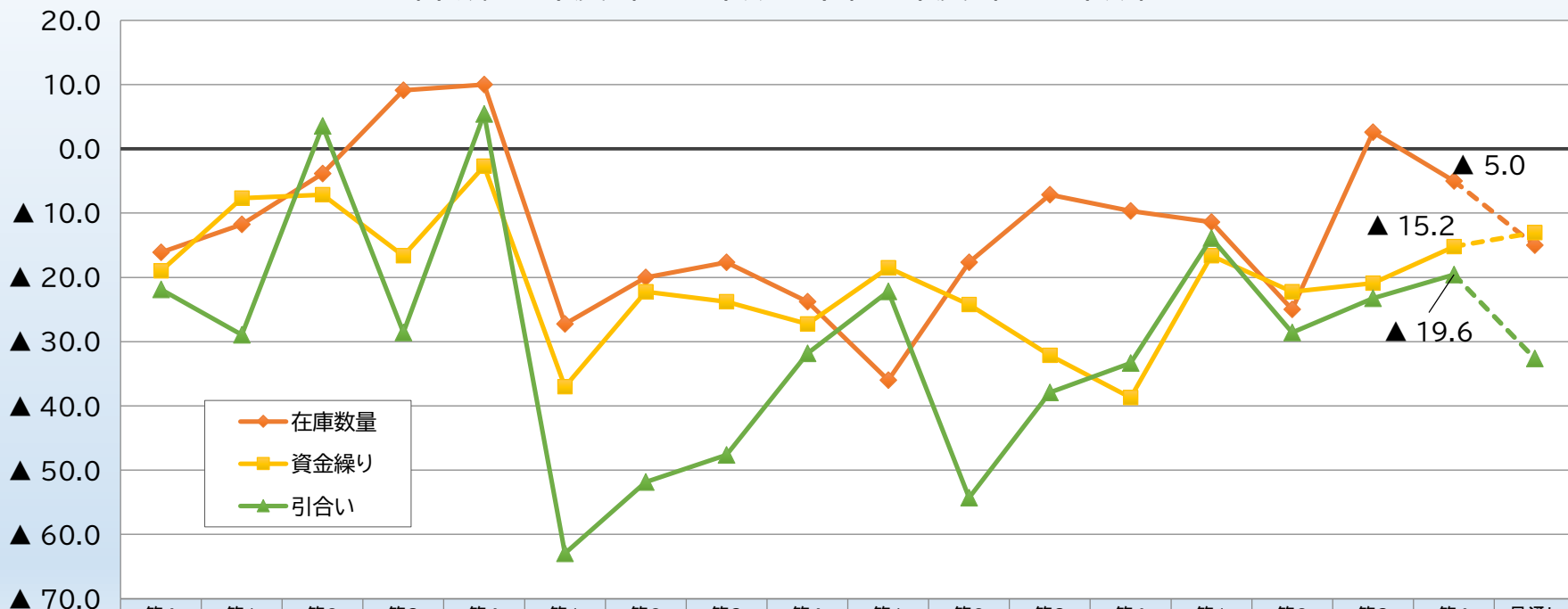


	第4 H30年度	第1 R1(2019)年度	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R5年度
	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度					
業況	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 2.2
売上	▲ 31.1	▲ 11.4	▲ 22.2	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	8.7
経常利益	▲ 32.8	▲ 30.6	▲ 7.4	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	▲ 4.3

【業況】	今期: ▲2.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲2.2と同水準の見通し。
【売上】	今期: +8.7とプラスに転じた。	来期: +8.7と同水準の見通し。
【経常利益】	今期: ▲13.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲4.3とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度第4四半期～令和4年度第4四半期)

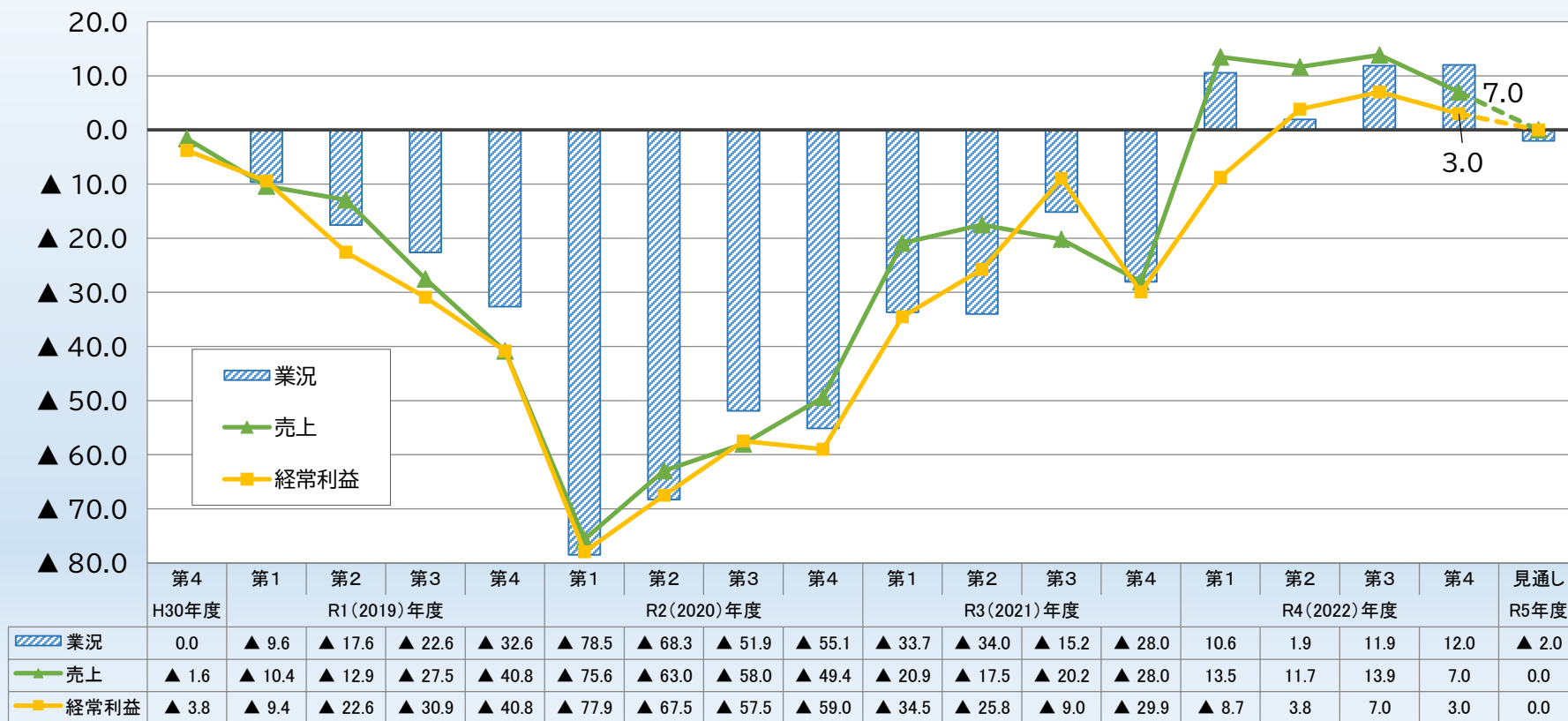


	第4 H30年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R5年度
	R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度					
在庫数量	▲ 16.1	▲ 11.8	▲ 3.8	9.1	10.0	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 17.6	▲ 23.8	▲ 36.0	▲ 17.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 25.0	2.6	▲ 5.0	▲ 15.0
資金繰り	▲ 19.0	▲ 7.7	▲ 7.1	▲ 16.7	▲ 2.7	▲ 37.0	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 27.3	▲ 18.5	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 13.0
引合い	▲ 21.9	▲ 28.9	3.6	▲ 28.6	5.4	▲ 63.0	▲ 51.9	▲ 47.6	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 54.3	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 13.9	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 19.6	▲ 32.6

【在庫数量】	今期: ▲5.0とマイナスに転じた。	来期: ▲15.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲15.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲13.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲19.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲32.6とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

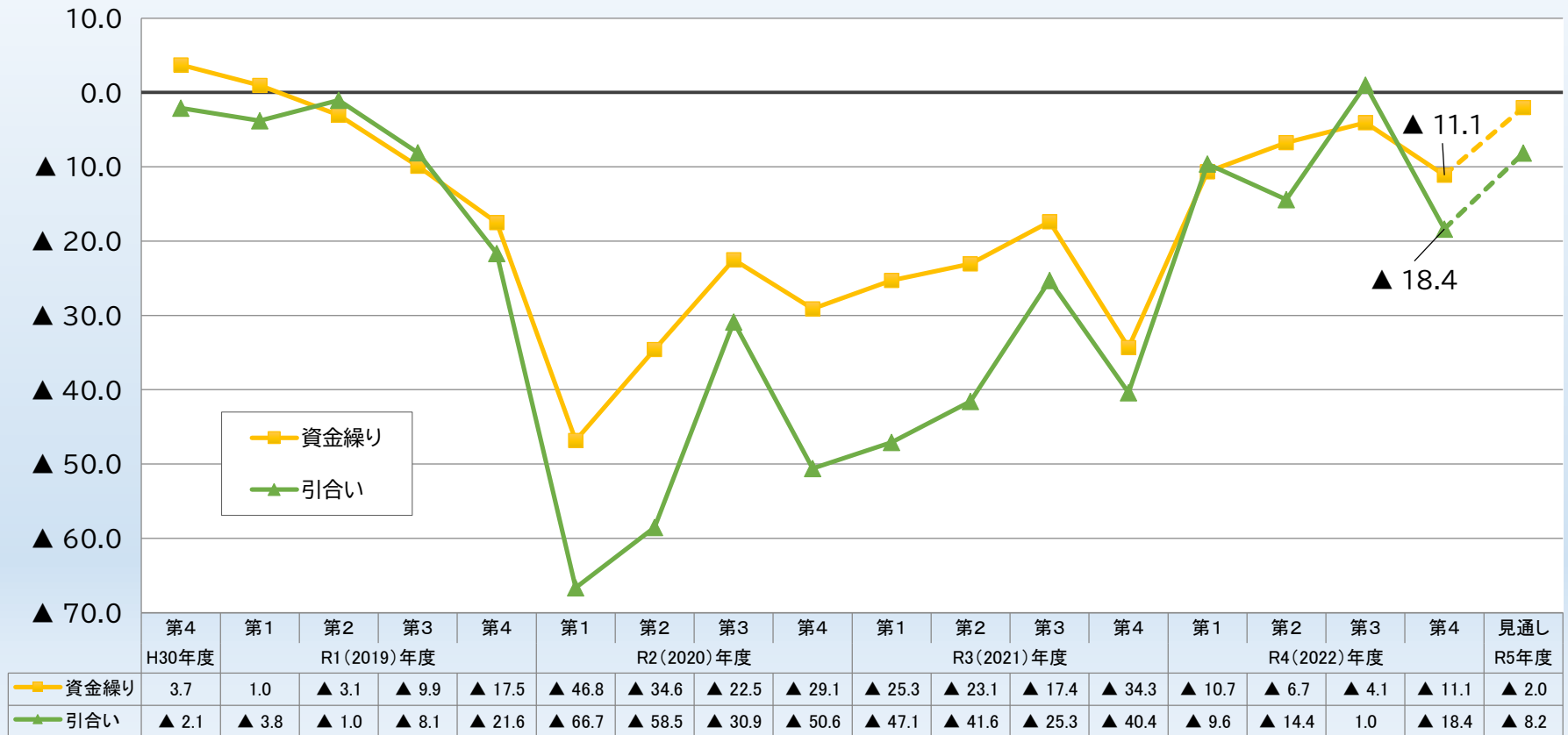
【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【業況】	今期: +12.0とプラス幅が拡大した。	来期: ▲2.0とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期: +7.0とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +3.0とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第4四半期～令和4年度 第4四半期)



【資金繰り】	今期: ▲11.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲2.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲18.4とマイナスに転じた。	来期: ▲8.2とマイナス幅が縮小する見通し。

景況調査結果報告書(令和4年度 第4四半期)



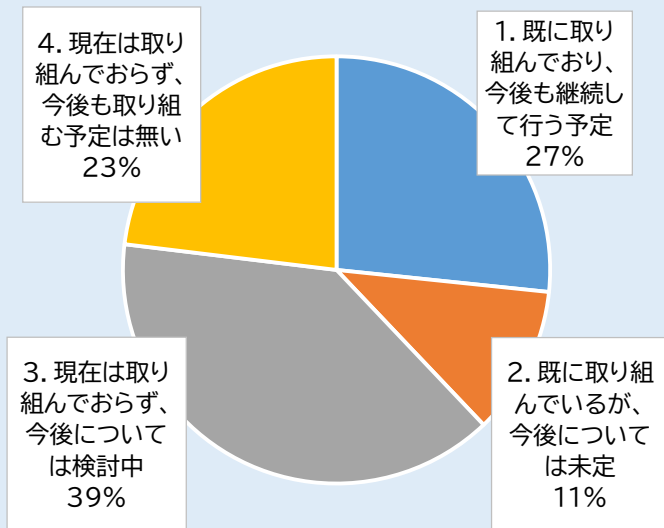
1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	10月からの全国旅行支援による売上増加。徐々に訪日外国人も戻りつつあり売上増加。	サービス業
	昨年が悪すぎたので今年は好転しているが、通常に比べると良くない。	建設業
	景気は良くなったが、人手不足のためフルに売上を上げることができない。	サービス業
	コロナ禍が収束に向かい、客数がコロナ前に戻ってきているが、各部署の人手不足発生と原料資材の高騰とエネルギー費の増大が収益を圧迫している。	小売業
不変	コロナ前までには回復していないが、コロナの影響は減ってきている。	製造業
	昨年実績を守るのが精いっぱい、どちらかと言うとジリ貧傾向。	卸売業
	最低賃金上昇分が請負単価に反映できないので経営が苦しい。	サービス業
	物価と金利の上昇の影響や、景気動向がエンドユーザーの予算にマイナスに影響してきていると感じる。	建設業
	国のコロナウイルス感染症「5類」移行で、人の移動が活発になると思う。	小売業
悪化	原材料価格・燃料費の価格上昇に伴い、利益は悪化。	製造業
	新車納期未定の為、売り上げが出来ない。	小売業
	客先のコストダウン要求が厳しく、その中で材料高や円安の影響もあり仕入コストが大幅にアップしており採算が悪化している。	製造業
	従業員の不足により、仕事量を増やせない。募集はしているが、全く反応はない。	サービス業
	原材料高騰及び、人件費高騰により一層悪化する見通し。	建設業

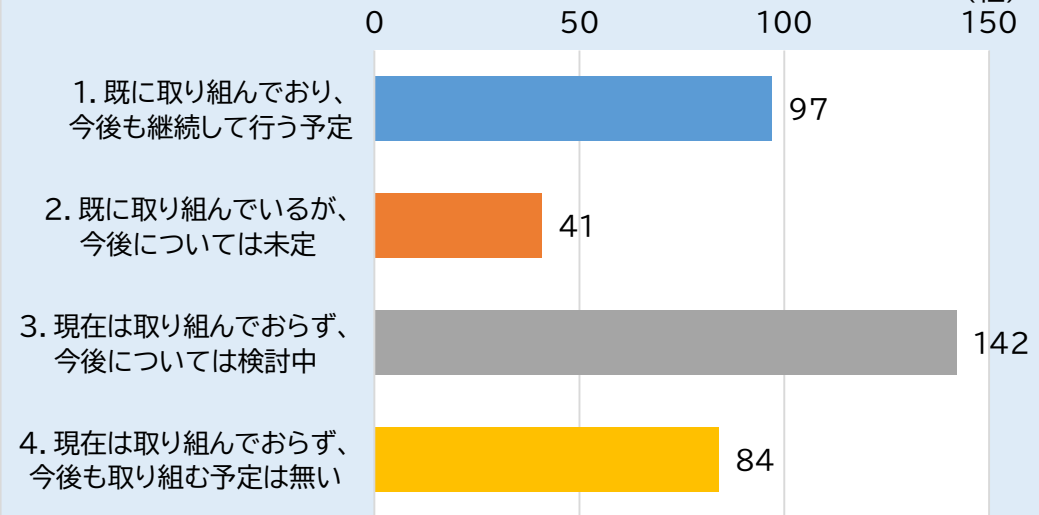
DX推進に向けた取組の実施状況

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に向けた取組の実施状況を尋ねたところ、「既に取り組んでいる」事業者は38%と、全体の約4割であった。
- 「既に取り組んでおり、今後も継続して行う予定」である事業者の割合は27%と、全体の約4分の1であった。

DX推進に向けた取組の実施状況



DX推進に向けた取組の実施状況(1つ選択、回答数:364)



※本調査ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を、「ITやデータの活用によって製品・サービス・ビジネスモデルを変革し、競争力を高めていくこと」としている。

DX推進に向けた取組の実施状況

- DX推進に向けた取組を実施している事業者には、現在の取組内容と今後の取組予定を尋ねたところ、下記の表の回答が得られた。

業種	現在の取組	今後の予定
製造業	電子掲示板、WEB会議	RPA活用による業務効率化
製造業	生産データの電子化、RPA活用、見える化	蓄積したデータを活用したAIによる解析、製品開発等
製造業	グループウェア導入によるワークフローの構築	生産管理システム導入による一部業務の自動化
建設業	施工管理にデジタルの導入、AIによる自動化の導入	遠隔臨場・写真管理・出来形管理のデジタル化、AIによる定型作業の自動化
建設業	勤怠管理システム、人事考課制度システム導入、ICT施工	インボイス制度、電子帳票保存対応
卸売業	電子帳簿保存に向けての社内システム更新	生産性向上に向けた販売促進ツールの活用
小売業	売り上げ顧客管理などIT導入	スマホの利用などネットワークの利用促進
サービス業	宿泊予約システムとサイトコントローラーの導入と連携	ポスレジの導入とフロントシステムの連携
サービス業	ドローンの活用	BIM/CIMの活用

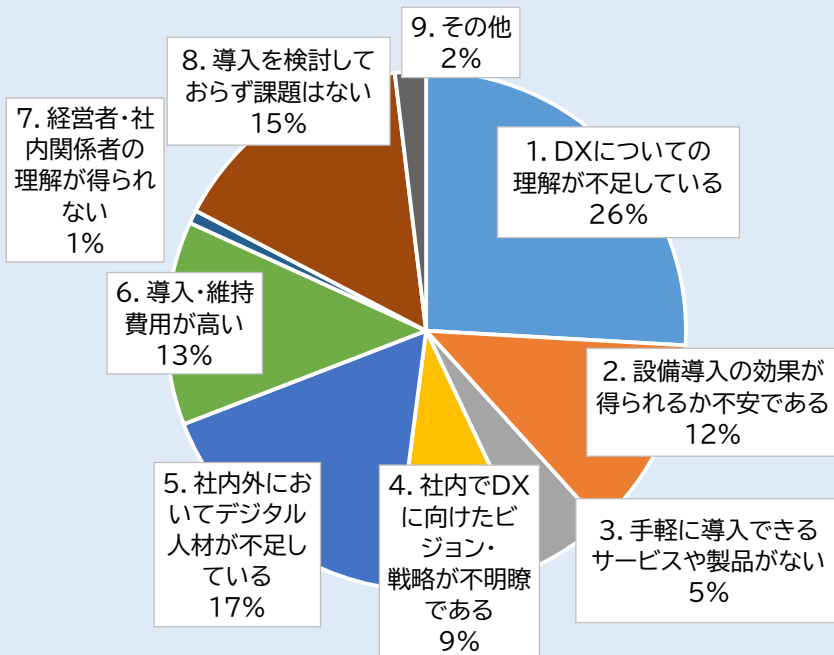
RPA(Robotics Process Automation): 人が行う定型的なパソコン操作を、ソフトウェア等により自動化するもの

BIM/CIM(Building/Construction Information Modeling): 建築・土木工事において、コンピューター上に建物等の3次元モデルを構築して効率化する仕組み

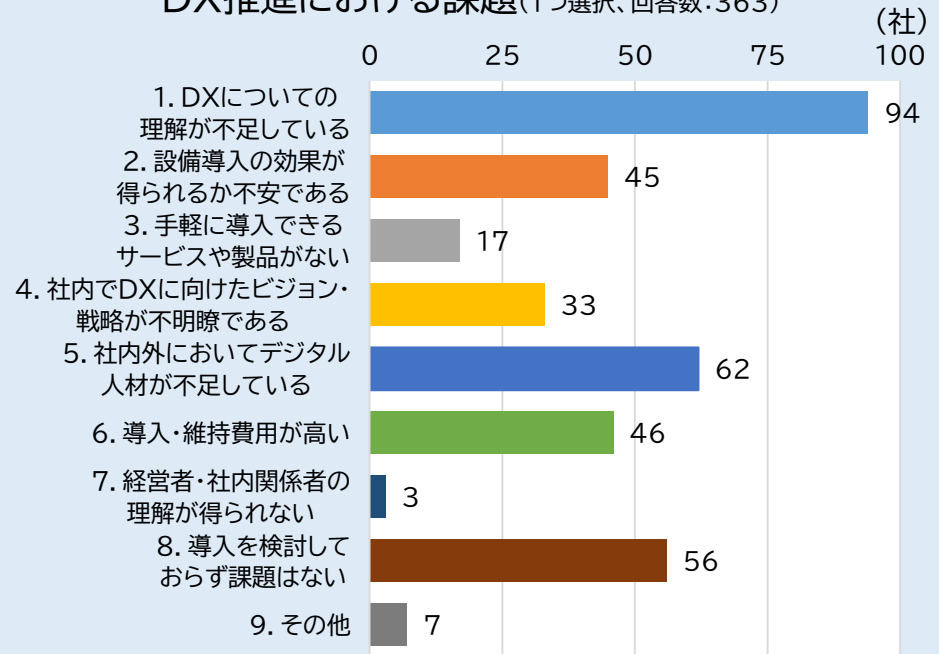
DX推進に向けた取組における課題

- DX推進に向けた取組を実施する際に直面した課題や、想定される課題について尋ねたところ、「DXについての理解が不足している」が最も多く、次いで「社内外においてデジタル人材が不足している」が多かった。

DX推進における課題



DX推進における課題(1つ選択、回答数:363)



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

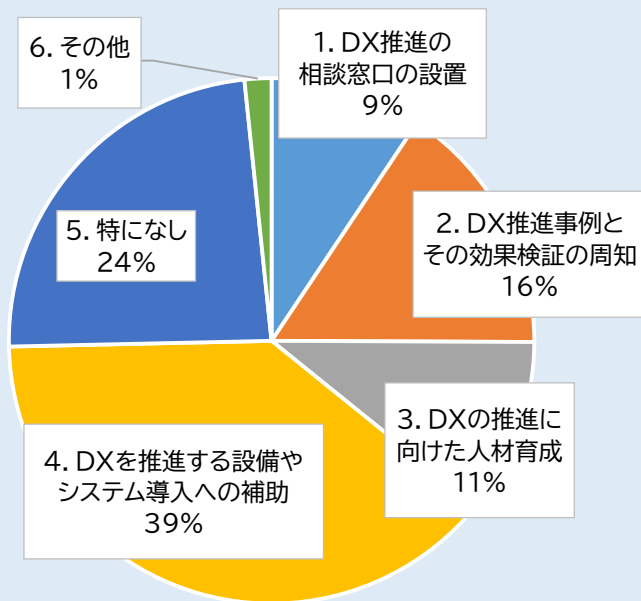
4. 業種別

5. 追加設問

DX推進に向けた取組で期待する支援策

- DX推進に向けた取組を実施するにあたり、県に期待する支援策について尋ねたところ、「DXを推進する設備やシステム導入への補助」が最も多かった。

県に期待する支援策



県に期待する支援策(1つ選択、回答数:363)

